

山梨県立文学館協議会資料

平成22年10月13日(水)

山 梨 県 立 文 学 館

目	次	頁
山梨県立文学館協議会名簿	1
山梨県立文学館組織図	2
S P Sやまなし組織体制図	3
山梨県立文学館活動報告(概要)	4
観覧者数の推移	5
施設利用状況	6
平成22年度 企画展等一覧	7
平成22年度 教育普及事業及び執行状況について	8
平成22年度 資料情報課事業一覧	13

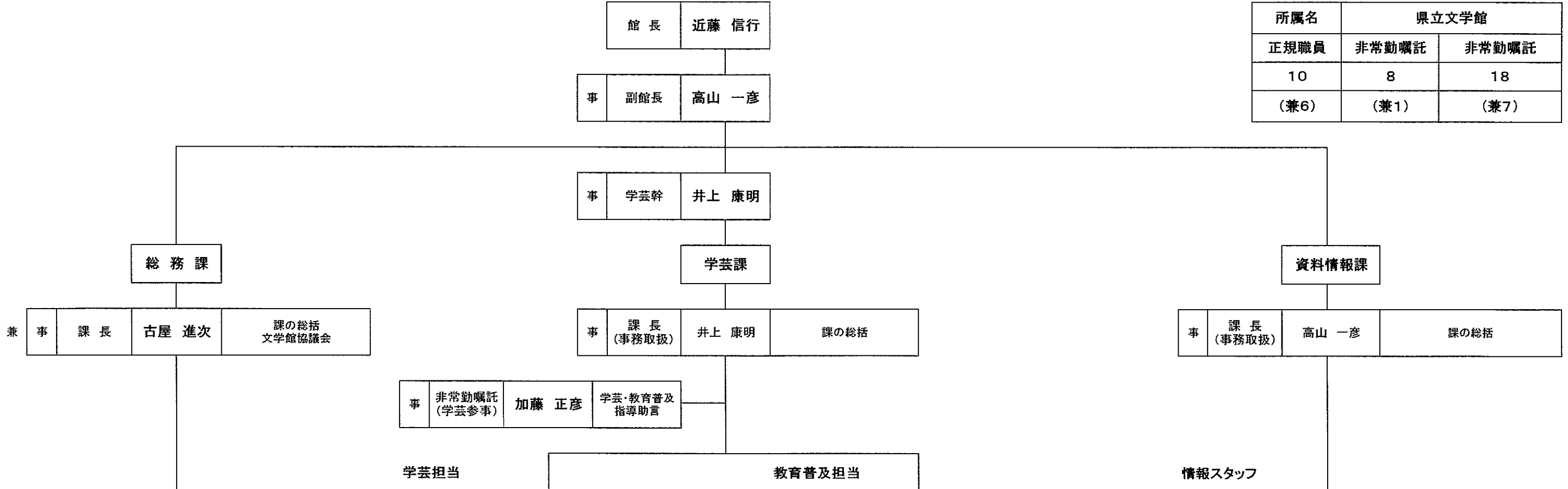
山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成21年9月29日～平成23年9月28日

区分	氏名	分野	選考区分	勤務先等
委嘱	ますつぼ あいこ 増坪 愛子	社会教育関係	県市町村教育委員会連合会代表	甲斐市教育委員長職務代理者
〃	あかいけ あずま 赤池 あずま	社会教育関係	県社会教育委員代表	山梨県社会教育委員
〃	おとぐろ ゆきえ 乙黒 幸江	家庭教育関係	児童教育施設代表	前中央市立玉穂生涯学習館館長
〃	みやざき よしひろ 宮崎 吉宏	学識経験者	山梨文芸協会代表	山梨文芸協会事務局長
〃	むこうやま ふみと 向山 文人	学識経験者	報道関係	山梨日日新聞社論説委員長
〃	ふるや みちお 古屋 未知男	学識経験者	報道関係	テレビ山梨放送本部・報道制作局長
〃	みやじ ゆきお 宮司 幸雄	学識経験者	報道関係	NHK甲府放送局副局長
〃	はしもと あさお 橋本 朝生	学識経験者	山梨大学関係	山梨大学教授
〃	いしだ ちひろ 石田 千尋	学識経験者	山梨英和大学関係	山梨英和大学教授
〃	かずの つよし 数野 強	学識経験者	山梨ことぶき勸学院学院関係	山梨ことぶき勸学院学院長
〃	おの ただし 小野 正	学識経験者	公募	顧問事務所経営・元風林火山博統轄店長
〃	みずがき あや 水垣 彩	学識経験者	公募	サンニチ印刷コンサルティング事業室
任命	ますだ ひろみ 益田 洋美	学校教育関係	県公立小中学校長会代表	甲州市井尻小学校校長
〃	つじ やすし 辻 泰	学校教育関係	県高等学校長協会代表	県立富士見支援学校校長

文学館組織図

所属名	県立文学館	
正規職員	非常勤嘱託	非常勤嘱託
10	8	18
(兼6)	(兼1)	(兼7)



兼	職名	氏名	主たる業務
兼 事	主査 リーダー	上田 広樹	担当の総括 予算管理
兼 事	主任	中島 文彦	会計・経理 旅費・福利
兼 事	主事	丸山 衛嗣	会計・経理
兼 労	主任業務員	市村 賢明	施設管理業務
兼	非常勤嘱託	中嶋 栄子	職員給与等 共済組合、互助会

学芸担当

兼	職名	氏名	主たる業務
兼 研	学芸員 リーダー	高室 有子	担当の総括 企画展・常設展の実施
兼 研	学芸員	保坂 雅子	企画展・常設展の実施 文学講座
兼 研	学芸員	中野 和子	企画展・常設展の実施 文学講座
兼	非常勤嘱託	赤井 美知江	ボランティア育成・指導等
兼	非常勤嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開

教育普及担当

兼	職名	氏名	主たる業務
兼 事	主幹・ 教育主事 リーダー	小林 ますみ	担当の総括 学校教育・生涯学習機関との連携
兼 事	主幹・ 教育主事	杉原 真理	学校教育・生涯学習機関との連携協 力、文学講座
兼 事	主査・ 教育主事	名執 弘美	学校教育・生涯学習機関との連携協 力、文学講座

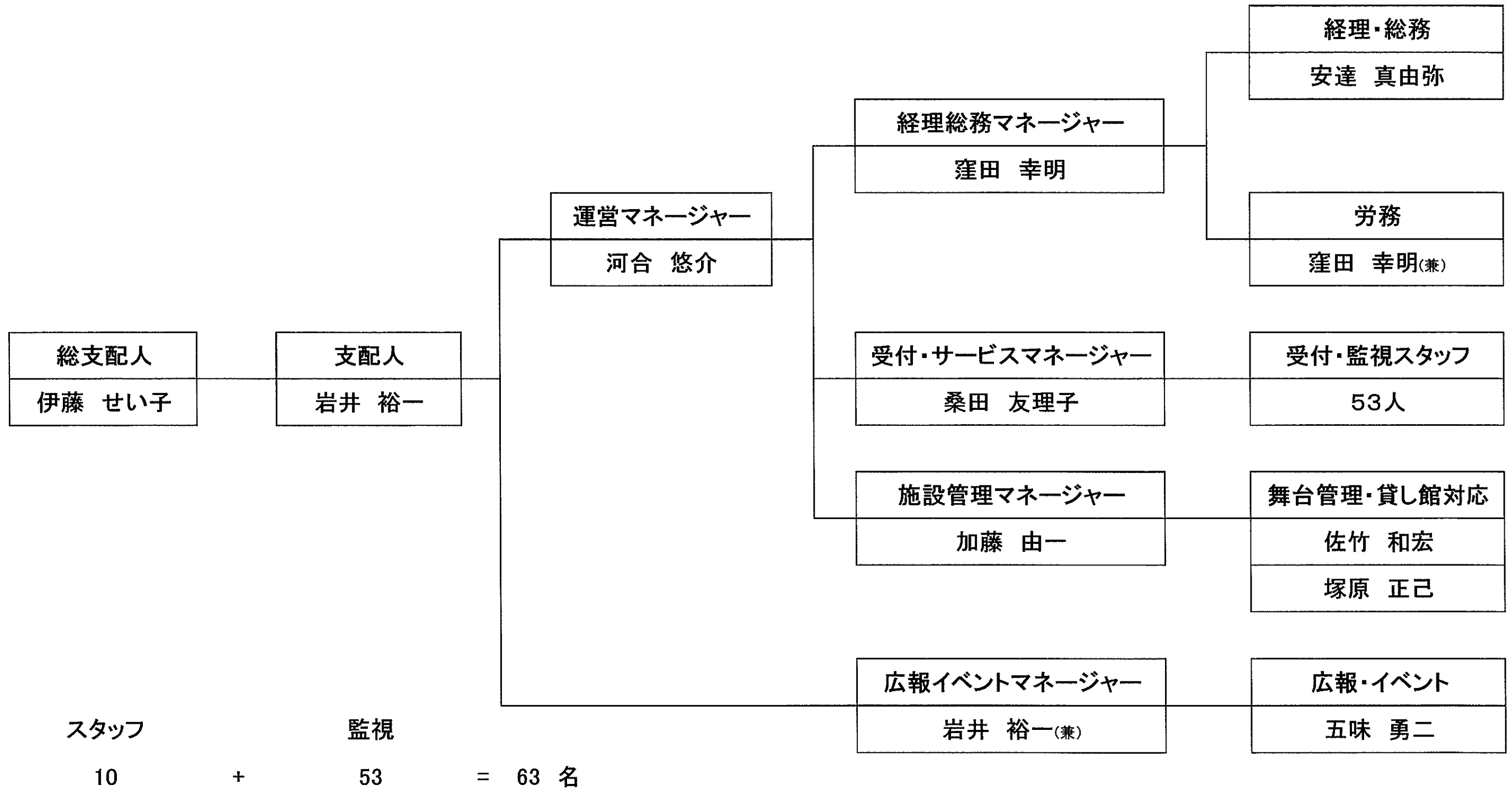
情報スタッフ

兼	職名	氏名	主たる業務
兼 事	副主幹 リーダー	三澤 麻須美	担当の総括 購入資料の選定等
兼 事	主査	望月 洋子	図書、逐次刊行物の評価・公開 図書、視聴資料データ作成管理
兼 事	副主査	小林 幸代	逐次刊行物のデータ作成管理 文書検索システム
兼	非常勤嘱託	中込 照子	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
兼	非常勤嘱託	石原 宝	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
兼	非常勤嘱託	高田 あゆみ	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
兼	非常勤嘱託	望月 綾	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

文学館協力会

兼	職名	氏名	主たる業務
兼	協力会職員	千国 ちふみ	協力会業務

指定管理者組織図 (SPSやまなし)



山梨県立文学館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化にともない、心の豊かさや生きがいを求めての文化活動に対する関心も高まっている。

このようななか、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、県民に広く文学に関する知識・教養を提供するうえで、次の4つの機能が求められている。

【展示／見る】 文学史に残る作家と作品を紹介する企画展と山梨県出身ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ・創る】 生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】 山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしむ】 本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

平成21年度は、文学館開館20周年を迎え、記念イベントを実施し、情報発信を強力に行ってきた。

平成21年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

開館20周年を契機に魅力向上をはかる展示を展開

〈常設展〉

- 第1室 富士山と文学 古典（年間の前半）秋山秋紅寥の世界（年間の後半）
- 第2室 山梨出身ゆかりの20作家のコーナー他 前半 詩人15名 後半 歌人15名
- 第3室 芥川龍之介 資料集草稿6～8週ごとに入れ替え
- 第4室 飯田蛇笏 季節毎の展示替え

◎ 常設展示室リニューアルオープン（平成22年2月2日）

- 飯田蛇笏・飯田龍太記念室を新設 ○第1室に樋口一葉コーナー新設 ○本県ゆかり出身作家の顕彰充実 ○展示・ソフト機能の拡充 ○収蔵品展の開催 ○記念講演会開催 講師：津島佑子
- 〈企画展〉開館20周年記念・春「太宰治展 生誕100年」・秋「樋口一葉と甲州」展
〈特設展〉開館20周年記念特設展 H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま 青い瞳の涙」

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

◎ リニューアルオープンした常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室にちなみ、創作俳句教室を大人・子ども向けに実施

◎ 文化の森種まきプロジェクトの事業開催 朗読会「加藤武口演&トーク」 日仏映画祭

〈活動内容〉

春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回 特設展関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク

〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施

小説部門 [応募 342 編。内県内 38 編] 研究評論 [応募 117 編]

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供〉

- 閲覧室資料紹介・土橋治重一人と作品一・赤毛のアンと村岡花子・家族が語る作家の素顔・山梨県立文学館20年のあゆみ
- 命日にちなんだ資料紹介・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・方代忌・一葉忌・周五郎忌
- 書庫見学 6/27(69名)、11/20(51名)

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協会会員による企画展・常設展の解説ボランティアを実施・育成 (9名)

芸術の森公園アートツアー (SPSやまなし自主事業)

ミュージアム甲斐 in (会員) 募集事業

JR・県観光機構との連携等による積極的な広報

平成22年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

開館20周年リニューアルオープンを契機に魅力ある展示を展開

〈常設展〉年4回展示替え ①デビューの頃 4/17～6/25、②こどもの風景 6/26～9/30、
③映画と舞台になった作品 10/1～12/26、④友情の手紙 1/2～3/18

- 第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた） 樋口一葉（朗読コーナー）
- 第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち
井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代
21作家のコーナー
- 第3室 芥川龍之介 生涯（誕生・少年時代・作家として・晩年）書画・俳句・山梨との関わり
朗読コーナー
- 第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 春・夏・秋・冬の展示替え
- 第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

収蔵品展 年度収蔵品資料を中心に展示紹介 (年度末)

〈企画展〉春「山崎方代展 右左口はわが帰る村」・秋「井伏鱒二と飯田龍太 往復書簡その40年」展
〈夏休み展示〉県立美術館・文学館共同特別展 「くじらぐもからチックタックまで」

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

◎ 常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室、春の山崎方代展にちなみ、創作教室実施

〈活動内容〉

春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回 特設展関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 女性のための短歌教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク

〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H23年2月末発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供〉

- 閲覧室資料紹介・「明星」創刊110周年・親子で読む名作・井伏鱒二の世界・新田次郎-歿後30年-
- 命日にちなんだ資料紹介・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・蛇笏忌・一葉忌・周五郎忌
- 書庫見学 6/26(38名)、11/20 実施予定

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協会会員による常設展・企画展の解説ボランティアの育成(延べ18名。春7名、秋4名、常7名)

芸術の森公園アートツアー (SPSやまなし自主事業)

ミュージアム甲斐 in (会員) 募集事業

JR・県観光機構との連携等による積極的な広報

文学館の観覧者数の推移について

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	10,849	30,525
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	132	12,298	3,589	15,887
計	5,925	622,072	309,557	931,629

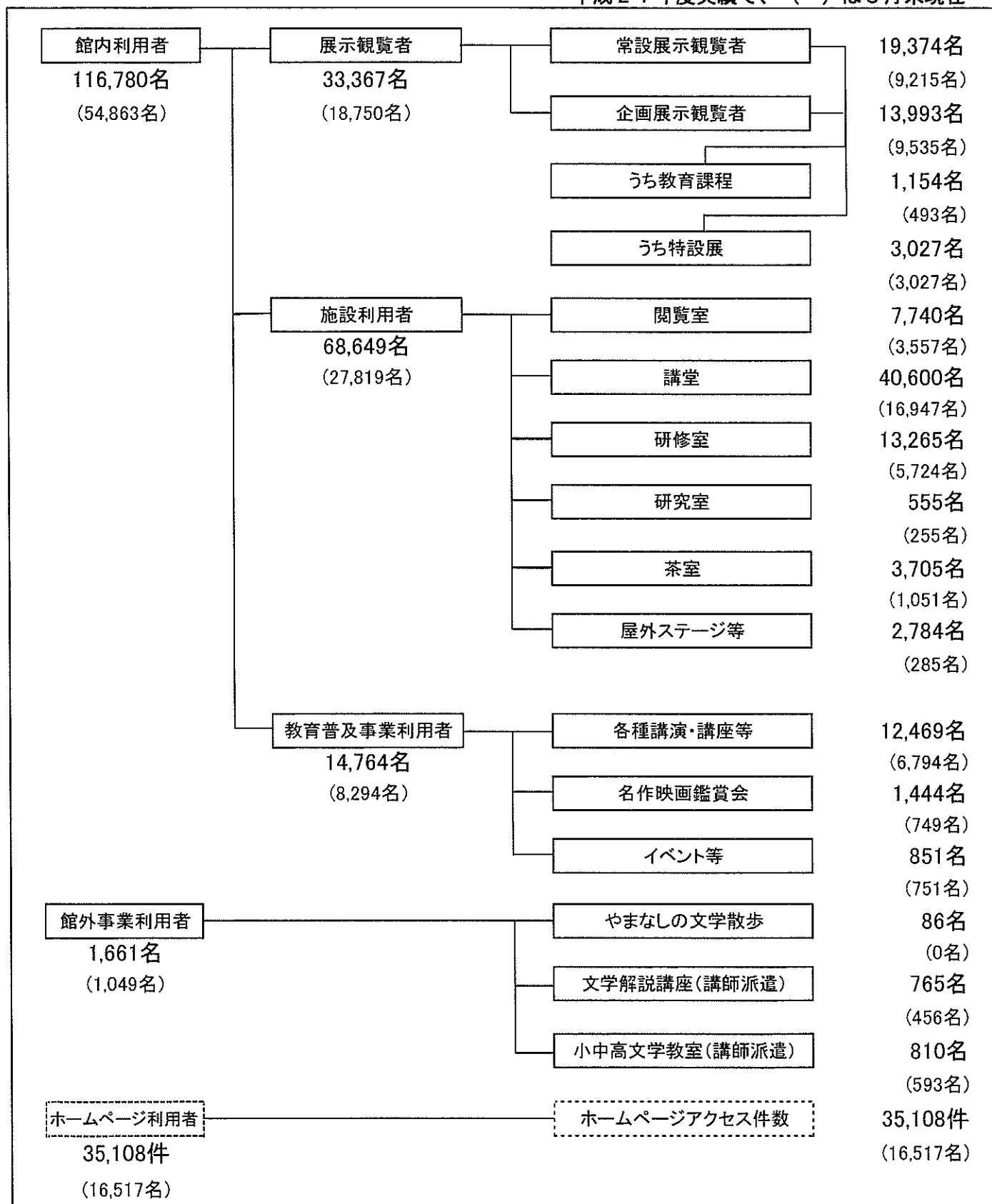
平成22年度常設展観覧者数

月	開館日数	入館者数	1日平均
4	27	1,582	59
5	26	1,574	61
6	26	1,468	56
7	26	2,243	86
8	27	5,431	201
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	132	12,298	93

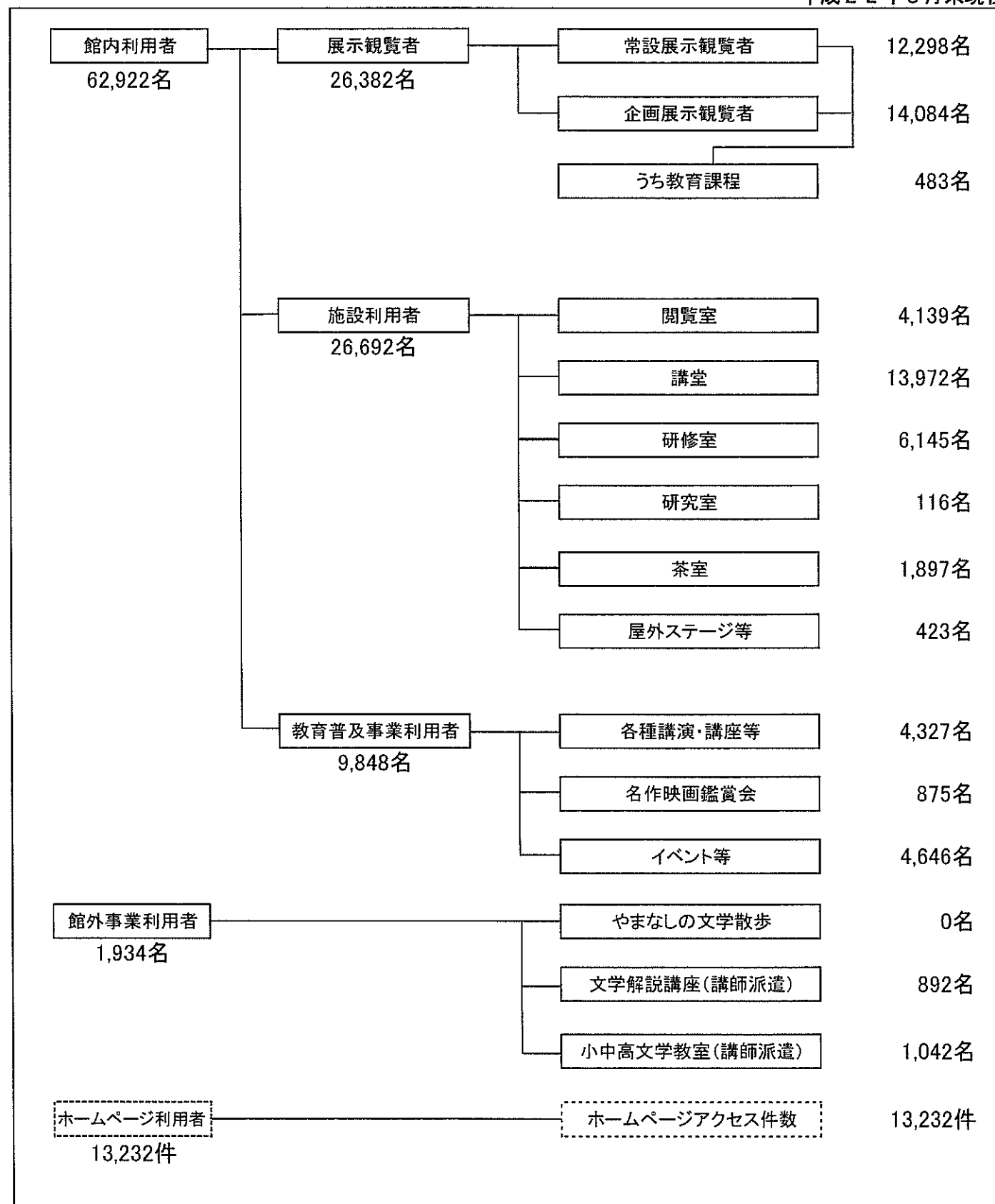
文学館「利用者」の状況

○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成21年度実績で、()は8月末現在



平成22年8月末現在



平成22年度 企画展・特設展など

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	企画展 山崎方代展 -右左口はわが帰る村-	5月1日(土) ~6月27日(日)	50日間	3,589	東八代郡右左口村(現・甲府市)生まれの歌人、山崎方代(やまざき ほうだい 1914~1985)は、口語調の平易な文体に明るい哀調を帯びた独自の歌の世界を展開しました。その作品は、現代の歌壇にも大きな衝撃をあたえ続けています。展覧会では、味わい深い書、歌稿、書簡、写真、遺品など約150点の資料により、歿後25年を迎える山崎方代の生涯と短歌の魅力に迫りました。	自主企画
2	美術館・文学館共同特別展 くじらぐもからチックタックまで —小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展—	7月25日(土) ~8月29日(日)	33日間	10,495	昭和40年から現在までの小学校国語の教科書に載った作品の中から、使用頻度の高い約20作品をえらび、その挿絵原画約150点を紹介します。県立美術館と文学館との共同特別展とし、美術館を第一会場(小学校低学年・中学年の作品)、文学館を第二会場(小学校高学年)として、親子で楽しめる展示を開催しました。	実行委員会で開催 * これまで常設展の一環として行ってきた「特設展」を、美術館との共同特別展として開催。
3	企画展 井伏鱒二と飯田龍太 -往復書簡 その四十年-	9月18日(土) ~11月23日(火)	61日間	未	小説家井伏鱒二(1898~1993)と、山梨県東八代郡境川村(現 笛吹市境川町)出身の俳人飯田龍太(1920~2007)は、1952(昭和27)年、水原秋櫻子の紹介で出会って以来、井伏が亡くなるまでの約四十年にわたって親交を結びました。2008(平成20)年に文学館が開催した企画展「飯田龍太展」の調査で明らかになった400通に及ぶ往復書簡を中心に、ジャンルを超えて結ばれた二人の交友を紹介しています。	自主企画
4	収蔵品展	1月19日(水) ~3月27日(日)	59日間	未	平成22年度に新たに収蔵した資料を中心に、文学館収蔵資料の名品を公開します。	自主企画・観覧料無料

【平成22年度事業について】

1 企画展

(1) 春の企画展・関連事業

ア 企画展示

「山崎方代展 右左口はわが帰る村」

会期 平成22年5月1日(土)～6月27日(日) 50日間

観覧者数 3,589人 (1日平均 72人)

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/15 (土)	講演会	「方代の歌の魅力」	馬場あき子(歌人)	320人
5/29 (土)	文学講座	「方代と故郷右左口」	中野和子(当館学芸員)	101人
5/30 (日)	短歌教室	「はじめての短歌教室」	河野小百合(歌人)	45人
6/6 (日)	座談会	「方代短歌を味わう」	来嶋靖生(歌人) 三枝浩樹(歌人) 大下一真 (歌人「方代研究」編集室)	189人
6/3 (木)	教師のための学習会		中野和子(当館学芸員)	23人

(2) 秋の企画展・関連事業

ア 企画展示

「井伏鱒二と飯田龍太 往復書簡 その四十年」

会期 平成22年9月18日(土)～11月23日(火) 61日間

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
10/3 (日)	講演会	「思い出の井伏鱒二・飯田龍太」 「井伏鱒二の甲州」	川島勝(元講談社編集者) 東郷克美 (早稲田大学名誉教授)	96人
10/23 (土)	講演・対談	「甲州・龍太山廬」 「井伏山甲州口」	廣瀬直人 (俳人・「白露」主宰) 近藤信行(当館館長)	
10/31 (日)	文学講座	「手紙でたどる文芸交流 井伏鱒二と飯田龍太」	高室有子(当館学芸員)	

10/19 (火)	教師のための学習会	高室有子(当館学芸員)	
10/17 10/31	井伏鱒二と飯田龍太 ゆかりの地をめぐる文学散歩	NPO協働事業	

「心の友に贈る三行詩」募集

応募総数 982点

2 常設展・特設展

(1) 常設展

第1室～第4室

作家の横顔—デビューの頃 4/17(土)～6/25(金)

作家の横顔—子どもの風景 6/26(土)～9/30(木)

作家の横顔—映画と舞台になった作品 10/1(金)～12/26(日)

作家の横顔—友情の手紙 1/2(日)～3/18(金)

第5室

前期49名 小説・評論・翻訳・ジャーナリズム

戯曲・脚本・童話・童謡

4/30(金)～8/29(日)

後期55名 詩・歌人・俳句・川柳・漢詩

9/17(金)～3/31(木)

(2) 美術館との共同特別展

「くじらぐもからチックタックまで—小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展」

ア 会期 平成22年7月25日(土)～8月29日(日) 33日間

観覧者数 10,495人(1日平均 318人)

イ 特設展関連事業

月日	事業名	講師	参加者数
7/25 (日)	オープニング記念講演会 「くじらぐもといっしょに」	中川季枝子 (児童文学作家)	303人
7/31 (土)	おとなを休もう「ごんぎつね」	岡村太郎 (山梨大学附属小学校教諭)	40人
8/1 (日)	教科書ができるまで&デジタル教科書	飯田順子・森下耕治 (光村図書出版株式会社)	70人
8/8 (日)	子ども映画会 「ごんぎつね」他		263人
会期中毎日	夢のうろこで龍をつくろう		1,980人

「小学校国語教科書にのった思い出いっぱいのお話の感想文」ロビー展示 応募総数 512点

3 教育普及事業（企画展・特設展関係を除く）

(1) 年間文学講座

期 間	事業名	演題	講師（職名）	参加者数
5/12 6/16 7/14 8/11 9/22 10/20 11/17 12/15	文学講座1（全8回）	研修室 5回終了 芭蕉を読む 水曜日 14:00~15:30	両角倉一 （山梨県立大学名誉教授）	485人 （5回）
5/1 6/5 7/3 8/7 9/11 10/9 11/20 12/11	文学講座2（全8回）	研修室 5回終了 芥川文学における〈虚構〉と〈現実〉 土曜日 14:00~15:30	小菅健一 （山梨英和大学教授）	520人 （5回）
6/24 10/14 12/2	文学講座3（全3回）	研修室 1回終了 山梨の文学 木曜日 14:00~15:10	文学館職員	63人 （1回）

(2) 文学のつどい

期 日	演 題	講師（職名）	参加者数
6/13 （日）	「山梨ゆかりの幕末期江戸文人たち —友野霞舟、中村敬宇、森田桂園のことなど」 「市場のなかの文学—菊池寛と金子洋文—」	揖斐高 （成蹊大学文学部教授） 紅野謙介 （日本大学文理学部教授）	43人

(3) 名作映画鑑賞会

月 日	題 名	原 作 者	参加者数
4/18 （日）	「小島の春」	原作 小川正子 監督 豊田四郎	214人
6/27 （日）	「それから」	原作 夏目漱石 監督 森田芳光	398人
8/8 （日）	特設展関連カラーアニメ「ごんぎつね」 「怪談芳一物語」	原作 新美南吉 原作 小泉八雲	263人
9/5 （日）	「故郷」	原作 山田洋次 監督 山田洋次	313人
10/24 （日）	「赤ひげ」	原作 山本周五郎 監督 黒澤明	

11/28 （日）	「炎上」	原作 三島由紀夫 監督 市川崑	
3/13 （日）	子ども映画会カラーアニメ 「笠じぞう」「猫の事務所」	原作 宮澤賢治	

(4) 俳句創作プログラム

月 日	事業名	講 師	参加者数
2/5 （土）	女性のための短歌教室1	川崎 勝信 （富士短歌会代表）	
2/13 （日）	女性のための短歌教室2	川崎 勝信 （富士短歌会代表）	

(5) 読書会

月 日	著 者	作 品 名	参加者数
5/2 6/19 7/18 8/28 9/19 10/16 11/14 12/12 1/29 2/20	山崎方代 太宰治 芥川龍之介 村上春樹 深沢七郎 井伏鱒二 樋口一葉 保坂和志 山本周五郎 林真理子	「青じその花」 「斜陽」 「侏儒の言葉・西方の人」 「神のこどもたちはみな踊る」 「言わなければよかったのに日記」 「山椒魚」「へんろう宿」「掛持ち」 「十三夜」「うつせみ」 「プレーンソング」 「五辨の椿」 「初夜」	64人 （5回）

(6) 親子ほのぼの朗読会（素心菴）

開催日	題 材 名	講 師	参加者数
6/12 （土）	「山崎方代のうた」「なぞなぞあそび」 狂言えほん「かたつむり」 ことばあそび「きりなしうた」 スライド朗読「あおよ かえってこい」	塩山やまびこ会	30人
8/28 （土）	「にほんごであそぼ」「ごん狐」 「スイミー」「一つの花」	溝口朗読サークル	74人
11/6 （土）	飯田龍太の俳句など「グッドモーニング」 「森のお店やさん」より ぼけっとや①②③ 大型絵本「からすのパンやさん」 「？」の時間	朗読の会すずらん	

(7) 朗読鑑賞会

開催日	内 容	出 演	参加者数
8/22 （土）	朗読劇で文学に親しもう「オツベルと象」 「注文の多い料理店」「よだかの星」	劇団芸教	225人

- (8) チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館 (4月～8月31日)
- | | | | |
|-----|------|-----|--------|
| 幼児 | 10人 | 小学生 | 802人 |
| 中学生 | 483人 | 高校生 | 14人 |
| 大人 | 13人 | 合計 | 1,322人 |
- (9) ジュニアインターンシップ (職場体験学習) 学芸員実習
- | | |
|-----------------|----------------|
| 7月28日～30日までの3日間 | 7月6日～11日までの6日間 |
| 高等学校生 4名 | 大学生 4名 |
| 8月 3日 (1日) | |
| 中学生 8名 | 合計 16名 |
- (10) 文学解説・各種講師派遣事業 (4月～8月31日)
- ア 文学解説・教室
- | | | | |
|------|------|--------|------|
| 小学校 | 8校 | | |
| 中学校 | 22校 | | |
| 高等学校 | 5校 | | |
| 大学 | 2校 | 小中高大1, | 240人 |
| 一般 | 41団体 | 一般 | 213人 |
- イ 文学解説・講師派遣
- | | | | |
|------|------|-----|--------|
| 小学校 | 1校 | | |
| 中学校 | 1校 | | |
| 高等学校 | 1校 | 小中高 | 1,042人 |
| 一般 | 11団体 | 一般 | 892人 |

4 やまなし文学賞

やまなし文学賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定されました。山梨県の文化振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けています。

選考委員 小説部門： 三浦哲郎 ・ 阪上 弘 ・ 津島佑子

研究・評論部門： 菅野昭正 ・ 高田 衛 ・ 十川信介

23年2月

選考会

3月中旬

表彰式

6月

第19回小説部門受賞作単行本刊行

5 その他

共催事業

5/22 (土) NHK 朗読シアター 350人

6/19 (土) NHK ラジオ文芸選評 259人

過去5年間 教育課程による入館者数(県内)

		H17	H18	H19	H20	H21	平成22年度												
							合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	学校数	1	2	1	1	12	6			2	4								
	人数	58	78	55	53	503	175			90	85								
中学校	学校数	21	28	16	17	17	21	7	13			1							
	人数	952	561	324	327	418	375	68	287			20							
高校	学校数	14	8	8	6	8	3		1	2									
	人数	1,484	640	690	409	727	49		14	35									
大学 特別支援	学校数	8	4	0	3	7	4	2				2							
	人数	765	279	0	41	595	220	174				46							
合計	学校数	44	42	25	27	44	34	9	14	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0
	人数	3,259	1,558	1,069	830	2,243	819	242	301	125	85	66	0	0	0	0	0	0	0

過去5年間教育普及事業 実施状況

一般対象		H17	H18	H19	H20	H21	H22	小中高生対象		H17	H18	H19	H20	H21	H22
企画展関連 講演会・講座	回数	5	6	8	9	14	5	子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	2	1
	人数	770	1,192	828	1,534	2,197	678		人数	216	377	303	349	241	263
	平均人数	154	199	104	171	157	136		平均人数	108	189	152	175	121	263
企画展 ギャラリートーク	回数		48	30	47	53	22	子どもワークショップ (朗読教室・詩作教室・俳句教室・他)	回数	5	5	2	1	1	2
	人数		1,163	359	740	1,178	556		人数	127	78	44	35	30	110
	平均人数		25	12	16	23	26		平均人数	26	16	22	35	30	55
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	24	16	16	16	16	8	子どものための朗読等 親子ほのぼの朗読会	回数	4	4	3	3	3	2
	人数	805	1,285	1,311	1,252	1,332	847		人数	254	226	180	153	201	104
	平均人数	34	81	82	79	84	106		平均人数	64	57	60	51	67	52
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	7	8	6	6	6	1	チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中高						1,316
	人数	468	481	302	312	375	63		大人						13
	平均人数	67	61	51	52	63	63		合計		307	652	773	851	1,329
文学のつどい	回数	1	1	1	1	1	1	小・中・高等学校・大学 文学解説・教室	回数	43	38	31	31	44	39
	人数	152	178	63	50	60	43		人数	3,117	1,279	1,790	994	2,243	819
	平均人数	152	178	63	50	60	43	小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	8	8	7	3	8	3
朗読鑑賞会	回数	3	3	2	1	1	1	人数	579	447	720	190	810	1,042	
	人数	985	647	592	230	500	225								
	平均人数	329	216	296	230	500	225								
映画鑑賞会	回数	10	6	6	6	5	2								
	人数	1,161	1,405	1,338	1,390	1,203	612								
	平均人数	117	235	223	232	241	306								
文学散歩	回数	2	2	2	2	2	0								
	人数	88	88	89	89	86									
	平均人数	44	44	45	45	43									
読書会	回数		10	10	10	10	4								
	人数		114	120	113	103	55								
	平均人数		12	12	12	11	14								
一般団体 展示解説 文学解説	回数		21	62	43	49	15								
	人数		526	5,329	895	723	213								
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	11	13	10	16	17	11								
	人数	475	777	902	597	765	892								

平成22年度 閲覧室資料紹介

1 目的 所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、魅力ある閲覧室づくりを行う。
また、閲覧室の機能の理解と利用促進及び資料収集の推進を図ることを目的とする。

2 場所 閲覧室

3 対象 一般県民

4 内容

展示名及び概要	展示期間
「明星」創刊110周年 「明星」は1900(明治33)年に与謝野鉄幹が主宰となって刊行された。短歌、詩、小説、翻訳、美術など幅広い分野にわたる雑誌で、与謝野晶子、高村光太郎、石川啄木、木下木太郎、北原白秋らを輩出した。創刊110周年にあたり、「明星」、ゆかりの作家たちの著作を紹介する。	平成22年4月13日(火) ～ 7月4日(日)
親子で読む名作 「お母さん童話」の創始者・徳永寿美子、『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子、「月夜の詩人」吉川行雄など、山梨ゆかりの児童文学作家は少なくない。ほかに、藤井樹郎、太田黒克彦、小野政方らの著作から、親子で楽しめる名作を紹介する	平成22年7月6日(火) ～ 9月17日(金)
井伏鱒二の世界 作家・井伏鱒二は「山椒魚」「黒い雨」など数々の名作を世に送り出してきた。山梨へは生涯を通じて頻りに訪れて親しみ、随筆や小説にその風土を描いている。企画展に併せ、井伏鱒二の著作や関連資料を紹介する。	平成22年9月18日(土) ～ 12月12日(日)
新田次郎一歿後30年ー 1932(昭和7)年から1937(昭和12)年まで、冬の富士観測所で過ごした新田次郎は、その経験から『強力伝』を執筆、第34回直木賞を受賞した。新田次郎の山岳小説や、『武田信玄』(吉川英治文学賞)などの歴史小説、併せて家族の著作も紹介する。	平成22年12月14日(日) ～ 平成23年4月17日(日)

閲覧室の利用

- (1) 所蔵資料の閲覧
- (2) 文献検索システム・OPAC横断検索による書誌情報の検索
- (3) 調査相談(レファレンスサービス)、複写サービス
- (4) 閲覧室資料紹介、書庫見学

閲覧室利用状況(内訳)

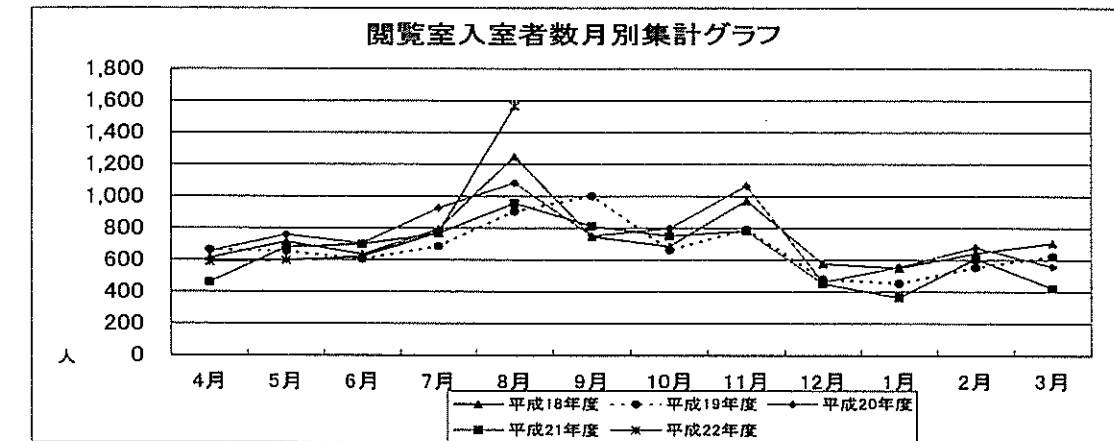
(H22.8.31現在)

	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成18年度	311	8,869	121	320	2,264	608	5,945	52	947	284	32,452
平成19年度	311	8,086	124	418	3,792	420	8,403	2	1,036	312	31,005
平成20年度	307	8,981	111	375	1,877	616	7,912	113	703	418	29,435
平成21年度	307	7,740	109	407	2,021	488	4,623	105	600	400	35,108
平成22年度	134	4,139	50	211	1,194	280	1,414	79	281	191	13,232

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H22.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成18年度	612	713	634	791	1,249	745	684	971	576	548	641	705	8,869	29
平成19年度	663	653	603	685	904	1,001	662	791	479	453	552	622	8,086	26
平成20年度	653	758	703	924	1,082	750	797	1,064	460	555	677	558	8,981	29
平成21年度	459	680	698	765	855	811	748	781	451	363	607	422	7,740	25
平成22年度	586	597	620	771	1,565								4,139	31



ホームページアクセス件数

(H22.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成18年度	2,315	2,564	2,512	2,620	3,020	2,745	3,080	2,700	2,152	2,576	3,037	3,131	32,452	104
平成19年度	2,459	2,799	3,105	2,623	2,638	2,363	3,127	2,549	2,239	2,197	2,688	2,218	31,005	100
平成20年度	2,444	2,689	2,343	2,744	2,620	2,271	2,692	2,542	1,871	2,159	2,670	2,390	29,435	96
平成21年度	2,783	4,094	3,967	2,949	2,724	2,677	2,806	3,015	2,019	2,337	2,759	2,978	35,108	96
平成22年度	2,551	2,650	2,669	2,684	2,678								13,232	86

*平成20年度までは 合計/開館日数=1日平均アクセス数。平成21年度から 合計/年間日数=1日平均アクセス件数。

複写枚数(マイクロも含む)

(H22.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成18年度	288	475	530	475	272	759	142	382	513	356	1,078	717	5,997	19
平成19年度	1,729	1,343	943	308	390	773	709	681	614	228	365	322	8,405	27
平成20年度	282	2,418	269	785	752	444	503	787	747	322	419	287	8,025	26
平成21年度	444	283	640	523	613	248	902	330	289	76	225	155	4,728	15
平成22年度	398	316	324	315	140								1,493	11

調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)

(H22.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成18年度	49	74	49	40	50	52	44	54	39	38	53	66	608	2
平成19年度	34	31	29	28	51	28	40	33	31	29	35	51	420	1
平成20年度	67	61	54	62	36	48	61	60	37	41	36	53	616	2
平成21年度	47	41	45	47	43	42	47	45	24	25	42	40	488	2
平成22年度	97	56	39	41	47								280	2

平成22年度 文学者の命日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。ロビーにガラスケースを配置して関連資料を展示し、展示室・閲覧室への誘導をはかる。

展 示 名	展 示 期 間
李良枝 (5/22ナビ忌)	平成22年5月1日(土)～5月23日(日)
太宰治 (6/19桜桃忌)	平成22年6月4日(金)～6月27日(日)
芥川龍之介 (7/24河童忌)	平成22年7月14日(水)～7月25日(日)
飯田蛇笏 (10/3蛇笏忌)	平成22年9月17日(金)～10月12日(火)
樋口一葉 (11/23一葉忌)	平成22年11月12日(金)～11月28日(日)
山本周五郎 (2/14周五郎忌)	平成23年2月4日(金)～2月25日(金)

平成22年度 企画展関連資料紹介

展 示 名	展 示 期 間
春の企画展 山崎方代展関連資料	平成22年5月1日(土)～6月27日(日)
両館共同特別展 くじらぐもからチックタックまで 関連資料	平成22年7月25日(日)～8月29日(日)